

週間感染症情報

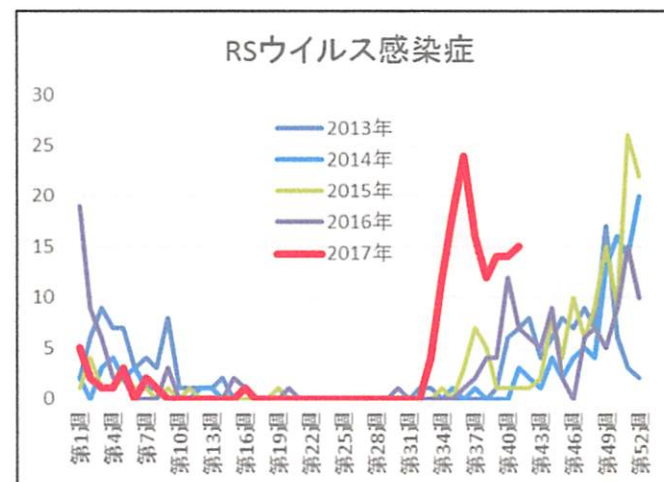
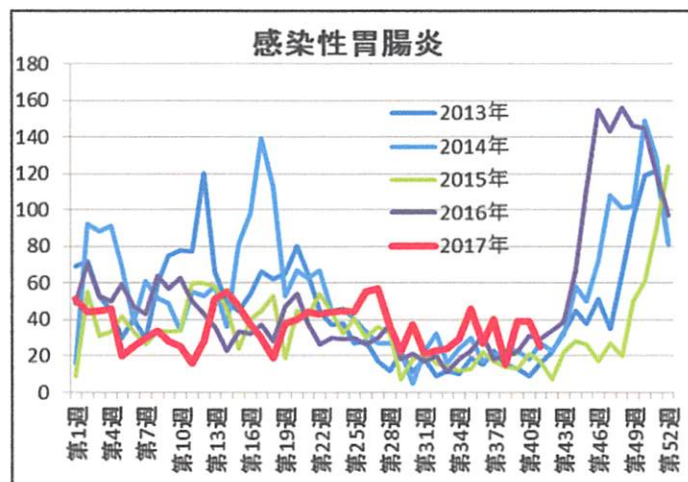
2017年40週～41週 2017年10月2日より2017年10月15日まで

	40週	41週
麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		
ムンプス(おたふくかぜ)	1	
百日咳		
溶連菌感染症	11	7
手足口病	15	8
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	39	25
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)	1	
突発性発疹	2	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	13	18
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	2	4
RSウイルス感染症	14	15
マイコプラズマ感染症		
インフルエンザ(臨床診断含む)		3
インフルエンザA		3
インフルエンザB		
A+B		

40週と41週2週分の報告です。感冒症状の症例が増えてきました。また、喘息の児が発作を起こして来院します。41週のインフルエンザAの3例は家族例です。ベトナム帰りの祖母よりの感染例で、市内小学6年生が発端者だったため周囲への感染拡大が心配されました。同級生で発熱・倦怠感を訴えて当院受診した2例は迅速検査で陰性でしたが、イナビルを処方して休んでもらいました。16日再診時、すぐに解熱して咳もなく元気でした。その後同校でのインフルエンザAの報告はなく、今週の修学旅行は皆無事に行くことができるでしょう。よかったです。8月にも、カンボジア帰りの女子大生のインフルエンザAが1例ありました。今後発熱患者にはインフルエンザを鑑別に入れて診療する必要があります。周囲に同様の症状の患者はいないか、渡航歴や出張・旅行歴などを問診する事も大切です。

感染性胃腸炎の報告はまだ多くありませんが、左下のグラフの様にこれから嘔吐を主とするノロウイルスの季節です。寒くなった今週になり、嘔吐を主とする胃腸炎が増えてきました。注意が必要です。

RSウイルス感染症の報告は多い状態が続いています。検査は長引く発熱・呼吸困難の症例のみにしています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)